

明石博行先生退職記念論集の刊行に寄せて

経営学部長 中村公一

明石博行教授は、今年度をもって定年を迎えられ、ご退職されることとなりました。本学部での長年の多大なる貢献に対して、厚く御礼申し上げます。

明石先生は、一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程を単位取得退学のうち、同大学経済学部助手を経て、1989年4月より本学部にて専任講師として着任されました。

学部教育においては、本学部が創設以来設置している経済原論をご担当され、経済学概説などの授業も通じて経済学分野の教育にご尽力頂きました。また、学内においては、2003年4月～2005年3月に第二部・フレックスB学科主任をご担当され、2006年4月～2008年3月に国際センター所長に就任し、大学の教育研究活動に従事されました。

学外においては、日本科学者会議科学・技術政策委員会委員長などを歴任され、また北京大学歴史学部、江西財經大学、精華大学など海外で開催された学会や研究会においても精力的に学術発表をされてきました。

経営学部に設置されている経営研究所における研究会の開催の取りまとめをして頂き、学部内の研究交流にもご尽力いただきました。現在ではこれが基礎になって、新任教員の研究紹介や、退職教員の研究業績を聞く機会として、この研究会は充実した開催に至っております。同じ学部にて所属しながらお互いの研究についてはあまり知らないということが多いなか、研究について聞く機会を作って頂いたことに感謝しております。

最後になりますが、本学部における先生の長年のご尽力に対し、学部一同、心より感謝申し上げます。今後の先生のご健康を祈念致しますとともに、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。